

科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
文学国語	精選 文学国語（三省堂）	2	工業科全科 2年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
---------	--

2 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査
1 学期	1 小説の言葉・詩のことば 詩はいつでも近いところにある 2 詩歌 「今日」 「わたしを束ねないで」	4	・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについての理解を深める。	中間
		5		
		6		期末
		7		
2 学期	3 小説（一） 少年という名のメカ 4 詩歌 木に花咲き～短歌十五首～ 5 小説（一） 山月記	8	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・言葉には、想像や寝所を豊かにする働きがあることを理解する。	中間
		9		
		10		期末
		11		
12				
3 学期	6 評論 お砂糖とスパイスと爆発的な何か 7 小説（三） こころ	1	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。	学 年 末
		2		
		3		

3 評価規準及び評価方法

(1) 評価規準

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章を読み、使用頻度にかかわらず、広く語彙の理解を深め知識としての語彙を身につけられている。 ・選んだ題材に応じて情報を収集・整理して表現したいことが明確にできているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の仕方を工夫し、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように吟味し、推敲することができる。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、多様な解釈をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章を読み、登場人物の考えや生き方に共感したり疑問を抱いたりしながら、思索を深め、人間、社会、自然などに対する物の見方、感じ方、考え方を深めることができている。

(2) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方法	・小テストおよび定期テスト。	・定期テスト・グループ学習・ リフレクションシート等。	・授業観察・提出物・意欲

4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<p>普段の授業では予習復習を欠かさず、主体的に学習に取り組むこと。また、平素から、語彙力の向上に努め、社会的な事象に関心を持ち（新聞に目を通す等）、読書に励み、様々な言語活動に関心を払うこと。</p>
